社会福祉法人　豊中市社会福祉協議会

ボランティアセンターだより

2015年(平成27年)10月31日
第62号
発 行　社会福祉法人　豊中市社会福祉協議会
ボランティアセンターだより編集委員会
〒560-0023 豊中市岡上の町 2-1-15
TEL(6848)1000　FAX(6848)1005
URL:http://toyonaka-shakyo.or.jp/

ボランティアグループあれこれ

子育て支援と家事援助グループ「そよかぜ」編

子育て支援・家事支援の『そよかぜ』は、1992（平成４）年に市社協登録ボランティアグループとして誕生、発足して23年になりました。現在、女性メンバーばかりの10名で活動しています。

活動内容は、千里・庄内での１才半健診の手伝い、障がい児の保護者会の支援、産前産後の手伝い、とよなか国際交流センター・日本語教室時の保育の手伝い、高齢者宅の掃除の手伝い、高齢者の行事での弁当づくりの手伝いです。その他、個々に応じた家事支援・子育て・保育の依頼なども受けています。また、年に一度、施設見学では関西各地に行きます。

今日、豊中市の子育て制度・子育てサークルなどの充実により、依頼件数は減少傾向にはありますが、家事支援・子育て・保育など個々の依頼や問い合わせは増加しています。メンバーは主婦や子育ての経験者なので、「細く、長く、自分にできる範囲のことをできる範囲で」をモットーに、地域に少しでもお役に立てることができるように活動しています。

数年前に自立支援施設に伺った際、職員の方が言われたことがありました。「障がいのある方は出来ないのではなく、私達が出来る方法を考えていく必要がある」ということ。「時間をかけて、広い気持ちをもって支援していく」ということ。この言葉は、私達が活動していく中で、大切なことであると思っています。私達とともに活動していただける新しい仲間を募集中です。是非、『そよかぜ』の定例会にお越しください。心よりお待ちしております。

☆ぽっぽの会講演会時の保育の様子

☆そよかぜメンバー集合写真
※そよかぜは全員で10名です。

☺活動に興味のある方は・・・

☆『そよかぜ』定例会
　第３火曜日　午前10時～正午
　場所　ボランティアセンター「ぷらっと」

☆お問い合わせ
　豊中市社会福祉協議会　ボランティアセンター「ぷらっと」
　☎　06－6848－1000
FAX　06－6841－2388

高校生のボランティア活動

「戦後70年未来への遺産～私たちの思いを伝えたい～」

市内の高校生が戦争体験を聴き取りました！！

８月４日に豊中市すこやかプラザにおいて、太平洋戦争終戦後７０年の節目に豊中市ひとり暮らし老人の会連絡会の主催で開催されました。市内の高校生によびかけたところ桜塚高校と千里青雲高校から１０名参加がありました。戦争体験を若者たちに伝えたいという思いでそれぞれの体験や戦争に対する思い、若者に伝えたい気持ちを語っていただきました。高校生たちは真剣なまなざしで戦争体験者の言葉を聴き取っていました。この聴き取り体験で高校生の中に新たな意識が芽生えたのではないでしょうか。なお、この内容は冊子としてまとめる予定です。また、この時の様子をDVDにまとめましたので貸出しも可能です。

高校生の感想

- 豊中が焼け野原になったとは信じられない。想像したことのなかったことを聞けてためになった。
- 食べ物がなくて大変だった話を聞いた。物を大切にしなければならないと思った。
- 戦争のことをもっと知らないといけないという責任を感じた。
- 思い出すのも話すのもつらい経験を聞かせていただいて感謝したい。今の幸せを大切にしたいと思った。

話し手の感想

- あと５年生きたいと思った。
- 戦争は絶対にダメということが高校生に伝えられた。
- 幼いころの戦争体験を話せて、胸がスッとした。
- よく生きてきたなと思っている。物を大切にしてほしい。

ボランティアバス ～被災地の今を知る～

今年で５回目となるボランティアバス。８月１９日～２２日の４日間、市内６つの高校から２２名の高校生が豊中市・市社協主催のボランティアバスに参加し、岩手県の大槌町・釜石市、陸前高田市を訪問しました。

出発式

バスで約 15 時間
無事岩手県に到着

被災した大槌町役場を見学

新大槌町役場を訪問

☆参加高校
千里青雲高校・大商学園高校・刀根山高校・箕面自由学園高校・桜塚高校・桜塚高校定時制

被災の状況を見学したり、草引きで汗をかいたり地元の大槌高校生や同時期に訪問していた沼津西高校と交流しました。また、釜石の甲子仮設住宅では地元の方と話をさせていただきました。お礼にギターの演奏とともに歌をプレゼント。陸前高田市でも市長から話を伺い、歌を披露させていただきました。高校生たちの成長を見ることができました。

大槌町の河川敷で草引き

大槌高校と沼津西高校との交流

釜石仮設住宅の方と交流

陸前高田市の奇跡の一本松

高校生の感想

・直接話を聞くことで学ぶことや感じることが多く驚きました。
・人は一人では生きていけない、震災を経験したからこそ伝えられる言葉のように感じました。

岩手県立大槌高等学校歓迎イベント!!

「高校生が見た!岩手県大槌町」

▲頼もしい彼らの話に会場は涙

去る６月 23 日、岩手県の被災地支援で交流・親交を深めている大槌町より、県立大槌高等学校の生徒４名が豊中を訪れることとなり、豊中市社協では、震災について考える「被災地の今」を語っていただくイベントを開催しました。

生徒たちが取り組んだ活動を聞いた参加者７０名は、彼らの持つ力に元気づけられ、「４年前の出来事を風化させてはいけない！」「大阪の地よりいつまでも想ってます！」「共に頑張ろう！」など、今後の活躍の期待を込めたエールを桜のメッセージカードに託し、大槌高等学校に届けました。

また、イベント終了後は大槌町の水産品も並んだ東北物産店を行い、皆様のご協力の甲斐あって完売しました。豊中市社協は今後も被災地の復興を心を込めて応援します。

←沢山のエールがここに

ボランティア はじめの一歩講座

①6月１１日（木）：講話「はじめませんかボランティア」
講師一勝部麗子　豊中市社協参事兼地域福祉課長
②6月１８日（木）：体験学習（車いす・アイマスク・インスタントシニア）
講師一市社協登録ボランティアグループ
「みちしるべ」「ステッキ」
③6月２５日（木）：ボランティア体験談など
講師一緑地校区福祉委員会・施設職員・登録ボランティア　守口雅代さん・いきいき歌体操「さわやか」

インスタントシニアの体験。

守口さんによる体験談。体験から生まれた歌『大阪まんねん音頭』を披露。

～参加者の声～

- ボランティアと一言で言っても幅広く、色々なものがあると思った。
- 実際に体験する事で、介助する方とされる方、お互いの信頼関係の大切さを感じた。
- 体験を通して相手の立場を理解でき、もう少し優しい人間になりたいと思った。
- ボランティア体験談では、ボランティアを楽しんで自分の生活に取り入れられている様子が伝わった。

夏のボランティア体験プログラム

今年も市内５１か所の福祉施設等で体験プログラムが実施され、小学生から社会人、高齢者までのべ１５２名の方がボランティア体験をされました。「学校からボランティア体験をすると言われたときは、本当に意味があるのかなと思ったが、人生の中でとても大きな体験ができた」（高校生男子）など、貴重で充実した時間を過ごされました。

※この事業は、７月１日～９月３０日に実施された大阪府社会福祉協議会と市町村社会福祉協議会の共催で、大阪府内の社会福祉施設やボランティアグループ、ＮＰＯ団体等の協力で、よりボランティアを身近に体験してもらうためのプログラムです。

教職員のための ボランティア体験学習研修会

７月 29 日（水）に小・中学校教員 12 名が参加し、手話、点字、車いす、アイマスク、高齢者疑似体験をしました。体験後には、２学期のボランティア学習に生かしたい、感じたことを生徒たちに伝えたいなど教職員それぞれに思いを強くされたようでした。

↑手話体験

↑高齢者疑似体験

↓車椅子体験

↓アイマスク体験

「ボランティアはじめま専科」報告

☆いきいき歌体操「さわやか」

7月22日「ボランティアはじめま専科」をすこやかプラザで開催したところ、11名の方が参加されました。広報誌「とよなか」を見られて応募された方で、豊中各地から来られました。

参加された皆さんは「どんなことをするのだろう」「歌は好きだし」「自身の健康、介護予防に」「ボランティアのきっかけづくりに」とそれぞれ目的を持っておられました。また「ボランティアはじめの一歩講座」の受講を終えられ参加された方は、自分に合うボランティア探しをされていました。内容は、通常の定例会で行うプログラムをご一緒にさせていただきました。「懐かしい歌いいですね」「大きな声で歌えるのでストレス解消に」「私の年代には丁度いい体操ですね」「楽しくて、よく笑いました」「デイサービスなどで皆さんと一緒にやられるのに適していますね」と皆さん仰っておられました。

「いきいき歌体操」の名称は「在宅介護と歌体操研究所」に集う仲間の共通名ですが、「さわやか」のグループ名は私たちの先輩が命名されたもので、歌も体操もメンバーも三拍子そろった「さわやか」を今も大切にしています。見学、体験いつでも自由。一度覗いてみてください。（さわやか　T.N）

☆小さな手

小さな手のボランティアはじめま専科はにぎりっこを作っていただくところから始まります。私たちの定例会にまじって、ミシンを掛けたり、ビーズを入れたりと楽しい一時を過ごしていただきます。出来上がったニギリッコは持ち帰られる方、寄附するわと置いていかれる方とそれぞれでした。一通り小さな手で作っている介護用品の紹介が済むと、皆さま大変興味を持たれ、ミシン掛けが上手でなくてもいい？月に一度しか参加出来ないけど…と口々に言われて登録をされて帰られました。（小さな手　M.Y）

※「ボランティアはじめま専科」ってなあに？

“うちのグループはこんな活動しているよ！一緒に活動しませんか”と、各グループの紹介を行っています。今年度は下記日程で開催しています。

☆子育て支援と家事援助グループ
「そよかぜ」　5月19日（火）
☆高齢者支援グループ
「ステッキ」　7月15日（水）
☆介護用品手作りグループ
「小さな手」　7月16日（木）
☆いきいき歌体操グループ
「さわやか」　7月22日（水）
☆ぐるぐるアート豊中世話人会　8月6日（木）
☆ぐるぐるアート豊中世話人会　9月11日(金)
☆運転ボランティアグループ
「豊中アッシー」　10月15日（木）
☆高齢者傾聴ボランティアグループ
「聴くの会」　10月22日（木）
☆外出支援ボランティアグループ
「みちしるべ」　11月27日（金）（予定）

※「アクセス」「ズームイン」でも実施予定です。

「とよなか地域ささえ愛ポイント事業」報告

☆65 歳以上の豊中市民が登録できるこの制度、ご存知ですか？

高齢者にボランティア活動（ささえ愛活動）の楽しみを知っていただき、自身の介護予防にもつなげていただこうと始まった制度です。活動実績に応じてポイントが付与され活動支援金として受け取ることができます。

現在 800 人を超える登録者が活動しています。

介護予防研修会の様子

研修交流会の様子

研修会への参加者も多く登録者のボランティアへの関心の高さが窺えます。研修交流会では大阪教育大学の新崎先生よりこの事業に参加する意義を「助け上手・助けられ上手」になること、「人は必要とされることを必要とする」と、大変印象的なお話をしていただきました。

【活動者の声】

今年６月に「ささえ愛ポイント事業」の登録をしたのは、89 歳になられた谷山さん。これまで自宅近くにも高齢者施設があったことを知らなかったとのこと。

デイサービスセンター輝豊苑に見学に行き、今では週２回施設でお話し相手をしています。谷山さんは活動日が楽しみで、

「時間が近づくとそわそわしている、相手の方が自分の来るのを楽しみにしてくれることが、うれしく、新たな楽しみを見つけた」

と話してくれました。訪問した時にも、利用者の方々と楽しそうにお話しする姿が印象的でした。輝豊苑では職員とは違った角度から、意見を聞かせてもらうことができるので助かるとのこと。

これからも長く続けていただけたらと思っています。

ささえ愛ポイント事業は平成 24 年 10 月から始まり３年が経ちました。校区福祉委員会の他、登録されている介護保険事業所も現在は８５施設と増え、お近くの地域での社会貢献の場が増えています。

※本事業の登録には、説明会への参加が必要です。

説明会は、**毎月第１月曜日、第４火曜日　10:00～12:00**

豊中市すこやかプラザ　2階会議室にて開催。

事前に市社協ボランティアセンター「ぷらっと」にご連絡ください。

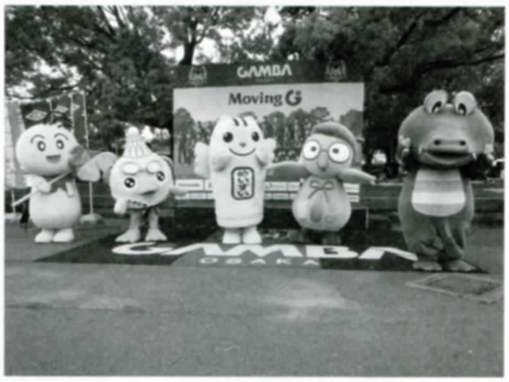
ガンバ大阪の豊中市民デーにボランちゃん登場！

5月１６日、ガンバ大阪の豊中市民デーが万博記念競技場で開催されました。市社協登録ボランティアグループ「つぼみ」メンバーのご協力の元、参加してきました。

握手をしたり、写真を撮ったり、たくさんの方にボランちゃんを知っていただけました。

豊中市内のキャラクターとともに「ボランちゃん」が登場！

左から　ボランちゃん　とよピヨ　めいすいくん　ごみぶくろう　マチカネくん



施設見学報告

子育て支援と家事援助グループ「そよかぜ」

6月16日、「そよかぜ」メンバーは大阪市北区扇町にある「キッズプラザ大阪」に行きました。

入館すると「ワァー」「キャー」と子どもたちの黄色い声が聞こえ、走り廻る姿が目に飛び込んできました。人の入れる大きなシャボン玉、じゃぶじゃぶポンプ、本物のレジのあるキッズマート、郵便局の制服を着て配達、すし・たこ焼き屋台等の店屋さんごっこ、お魚のエサやり、キッチンでのお菓子作り、その他盛り沢山の楽しみがありました。まさに「こどものための博物館」でした。

各コーナーには、インタープリターと呼ばれるボランティアがおり、子どもたちの興味、関心を引き出すよう導き、近所のおじさん、おばさんのごとく見守り、できた事へは「すごいね」と声かけをしていました。インタープリターは約 300 名で、最高齢 83 歳から現役大学生までおられるとの事でした。子どもたちの笑顔に癒された一時でした。（そよかぜ　K.F）

大阪府市町村ボランティア連絡会北摂ブロック交流会報告

平成２７年度の大阪府市町村ボランティア連絡会北摂交流会が、１０月１６日（金）に能勢町社協で開催され、池田市を含む７市２町のボランティア連絡会等から６４名の出席がありました。

能勢町ボランティア連絡会会長の挨拶の後、江戸時代後期から受け継がれている人形浄瑠璃が演じられました。終了後、人形浄瑠璃を体験する事ができ、浄瑠璃を体で感じることができました。さらに、能勢物語の口語訳と、物語中から民話を書き綴っている平尾悦子さんの講演がありました。能勢は、源氏の発祥地であり歴代の天皇とも関係が深かったことや、「語り」として能が生まれたふるさとであることなど楽しい話を聞くことができました。

昼食には能勢町の新米を使ったカレーをご馳走になりました。午後からは各市町での災害発生時のボランティアの対応について話し合い、その結果を発表しました。各市とも社協との連携等独自の対応策を設定していました。ただその内容で地域差があり、能勢町や豊能町では、災害発生という意識が低く、具体的な対応策を考えていないとの発表がありました。全市町の発表の後、交流会は終了となりました。（みちしるべ　M.H）

今後の予定

☆年賀状ボランティア

１１月１３日（金）		いずれも
２０日（金）		１０時～１２時
２５日（水）		及び
２７日（金）		１３時～１６時半
３０日（月）		お好きな時間に
１２月　４日（金）		ご参加ください。
１２月　９日（水）		

場所：すこやかプラザ　２階会議室

☆災害支援訓練　１月１６日（土）（予定）

☆市社協登録ボランティア「新年の集い」

１月２９日（金）（予定）

場所：市立福祉会館

☆第 23 回豊中ボランティアフェスティバル

３月５日（土）10 時００分～15 時 30 分

場所：すこやかプラザ　（予定）

ボランティアカフェ

ぷらっとで開かれる「ボラカフェ」はすっかり定着して、大勢の方に楽しんでいただいています。この秋からはコーヒー豆を挽いて香り、味、雰囲気をより一層楽しんでいただきたいと思っています。時間と手間がないときは従来どおり粉で立てさせていただく場合がありますが、その時はごめんなさい。

社協職員をはじめ、ボランティアの仲間、ほっぺに来られるママと小さなお子達と多くの方たちの交流の場になっています。おしゃべりの花が咲いているカフェをお楽しみください。（ステッキ　K.S）

☆開催予定☆

第１月曜・第２火曜・第２木曜・第４木曜・第４金曜　　各１３時半～１５時半

◎募金報告（９月３０日現在）◎

市社協では阪神･淡路大震災時に全国の方々から支援をいただき、大いに励まされたことから、被災された方々への支援金として活用していただくため、継続的な募金活動を実施しています。

東日本大震災支援金報告

平成 23 年３月 11 日午後２時 46 分頃、マグニチュード９．０を記録する地震が東北地方太平洋沖で発生し、甚大な被害をもたらしました。

今年度集まった支援金総額は

２５，８２６ 円です。

寄せられた義援金は被災者の為に活動するボランティアグループや NPO への支援金として、中央共同募金会に送金いたします。

引き続き、ご支援ご協力をお願いいたします。

ネパール地震救援金募金報告

平成 27 年４月 25 日、マグニチュード７．８を記録する地震がネパールで発生し、甚大な被害をもたらしました。5月 25 日街頭募金を実施し、今回集まった支援金総額は５０，２１１円です。

寄せられた救援金は現地で活動するNGOへの支援金としてとよなか国際交流センターを通じて送金いたしました。

平成27年台風18号等大雨災害義援金にご協力ください。

台風 18 号に伴う大雨により平成 27 年９月９日から 11 日にかけて、関東・東北地方などの広い範囲で人的・物的被害が発生しました。市社協ではボランティアセンターぷらっとおよび福祉の店「なかま」に募金箱を設置しております。ご支援ご協力をお願いいたします。設置期間：平成 27 年9月 16 日～11 月 26 日使途：被災された方への義援金として各県（茨城県・栃木県・宮城県）の被災地へ日本赤十字社豊中市地区を通じて送金いたします。

☆ボランティアメール配信中☆

月１～２回の配信予定です。ぜひご登録ください！

※下記 URL からもご登録いただけます。

https://service.sugumail.com/toyonaka-city/

編集後記

今年の夏は異常と言ってもいいくらいの気象の激しい変化で、多くの大きな災害も発生しました。これからは年々、地球の温暖化で益々大きな台風が発生すると予測されています。大切な地球を私たちの手で守っていく事は我々に課せられた大切な義務だと願っています。（豊中アッシー　H.T）